

令和5年度 甲佐町 まちづくりプラン

令和4年度
決算版



歴史が息づくこのまちで

未来をつくる子どもたちの成長に

小さな幸せを感じる暮らし

はじめに

『甲佐町まちづくりプラン（決算版）』

町民の皆さまには、日ごろから町行政に対して温かいご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、これまで中止や縮小を余儀なくされていた各分野にわたる活動やイベントが再開されるなど、コロナ禍からの回復を感じる一年だったかと思えます。

そのような中、本町においては、感染症対策として、一昨年から開始したワクチン接種を町内医療機関の協力のもと引続き実施し、価格高騰への対策としては、国の地方創生臨時交付金を活用し、町民の皆さまや事業者の方々に寄り添った支援を行いました。

明るいニュースとしましては、昨年、震災からの復興のシンボルの一つである熊本甲佐総合運動公園の整備が全面供用開始し、今年3月には、3年ぶりとなる緑川スポーツフェスタとあわせて完成式典を行い、県内外から多くの方にご参加いただき、明るいにぎわいのなか、震災からの復興やコロナ禍からの前進を感じることができました。

また、昨年、子どもの健全な育成や子育て世帯の負担の軽減のほか、子育て世帯の移住・定住を目的に子ども医療費を中学校3年生から高校3年生までに拡大しました。

さらに、近年の甚大な災害の頻発を背景に、7月には、一昨年度に美里町と結んだ包括連携協定に基づき「避難所の相互利用に関して定めた覚書」を締結し、両町の町民がそれぞれの町の避難所を相互利用できるようにすることで、ハード面だけでなくソフト面でも命を守るための施策を行いました。

今後も、職員一丸となり、長く続く苦境を乗り越え、町民の皆さまが幸せを実感していただけるような活力あふれるまちづくりの実現に向け町民の皆さまと行政が一体となり取り組んでまいります。

さて、このような中、令和4年度甲佐町決算が9月議会で認定されました。本紙では、令和4年度に行いました主な事業についてお知らせします。

皆さまに納めていただいた税金等でどのような事業を行ったのかをお知らせすることにより、町民の皆さまが町政により一層の関心を持っていただき、本町のまちづくりに理解を深め、ご参加くださることを願っております。

最後に、町民の皆さまには、引き続き町政へのご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

令和5年11月

甲佐町長 甲斐高士



甲佐町一般会計及び特別会計の決算収支状況

単位：千円

	一般会計	国保特会	介護特会	後期特会	甲佐町会計合計
歳入総額①	9,766,291	1,548,027	1,659,711	179,402	13,153,431
歳出総額②	8,817,757	1,510,618	1,592,786	178,266	12,099,427
形式収支③(①-②)	948,534	37,409	66,925	1,136	1,054,004
翌年度への繰越額④	7,081	0	0	0	7,081
実質収支(③-④)	941,453	37,409	66,925	1,136	1,046,923

甲佐町の昨年度1年間の収支状況は、差し引きで見ると一般会計、特別会計ともに黒字となりました。

一般会計で見ると、歳入総額から歳出総額を単純に差し引いた額（形式収支）が約9億5千万円となっており、事業の繰越などで翌年度に使う経費額を差し引いた実際に残った額（実質収支）が約9億4千万円となりました。

そのうち、8億円を財政調整基金（普通預金）に積立を行い、残りの約1億4千万円は令和5年度の予算に計上し使用することとしています。

- ※ 形式収支・・・入ってきたお金（歳入）から使ったお金（歳出）を単純に差し引いた収支額
- ※ 翌年度への繰越額・・・年度内に事業が完了しなかったため、翌年度へ繰り越す事業に必要な経費
- ※ 実質収支・・・単純差し引き額である形式収支から翌年度への繰越額を引いた、実際の収支額

甲佐町公営企業会計の決算収支状況

◆ 甲佐町水道事業会計

単位：千円

項 目	収益的収入及び支出	資本的収入及び支出
収入総額	169,537	5,721
支出総額	158,489	98,962
差 額	11,048	△93,241

※資本的収入額が支出額に不足する分は、当年度分消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補っています。

令和4年度甲佐町歳出決算の概要

単位：千円

会計名	決算額		
	令和4年度	令和3年度	比較
一般会計	8,817,757	8,900,239	△ 82,482
国民健康保険特別会計	1,510,618	1,521,654	△ 11,036
介護保険特別会計	1,592,786	1,557,595	35,191
後期高齢者医療特別会計	178,266	160,781	17,485
水道事業会計(収益的収支)	158,489	157,995	494
甲佐町歳出決算総合計	12,257,916	12,298,264	△ 40,348

甲佐町の歳出決算額は、全体で約123億円となっており、前年度と比較して約4千万円減少しています。

主な要因としては、令和3年度に実施した新型コロナウイルス感染症対策事業が減少したほか、令和3年度に熊本甲佐総合運動公園や町営住宅建替事業がほぼ完了したことによるものです。

次に、町民の皆さまに直接関係し、政策的経費である一般会計の決算について説明します。

町の収入で一番多いものは、国から交付される地方交付税が約29億1千万円で全体の30%を占め、次に、国・県支出金が約23億2千万円で全体の24%を占め、次にふるさと甲佐応援寄附金をはじめとした寄附金が約13億9千万円で約14%の順となっています。

歳出については、目的別に見てみますと、主なものとしては、子ども、高齢者、障がいをお持ちの方などへの給付費を含む福祉関係経費の民生費が約21億5千万円で約24%、ふるさと寄附金の基金への積立金や人件費などの総務費が約19億1千万円で約22%、熊本地震や豪雨災害の復旧工事などを行うために借りた借金の返済にあたる公債費が約11億2千万円で約13%となっています。

一方、性質別に見てみると、主なものとしては、ふるさと甲佐応援寄附金の運営経費を含む物件費が約16億1千万円で約18%、障がい福祉事業などの経費である扶助費が約13億9千万円で約16%、道路改良事業や総合運動公園整備などの投資的経費が約13億1千万円で15%となっています。

☆ 用語の説明

【一般財源】

その用途が特定されていないもの。（地方税、地方譲与税、地方交付税など）

【地方譲与税】

国税として徴収され地方公共団体に譲与される税のこと。（地方揮発油税譲与税、自動車重量譲与税など）

【地方交付税】

国税のうち所得税、法人税、酒税、消費税のそれぞれ一定割合の額を地方公共団体が等しく事務を行うことができるよう一定の基準により国が交付する税のこと。（普通交付税、特別交付税）

【地方債】

単年度に多額の財源を必要とする災害復旧や、道路や学校などの社会資本の整備のために町が国や民間金融機関などから借り入れ資金調達するお金のこと。

【総務費】

総務管理、文書管理、企画、財産管理、交通安全対策、総合電算、徴税、戸籍住民登録、選挙、統計調査などの経費。

【民生費】

高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉などの経費、介護保険などの特別会計への繰出金。

【衛生費】

住民健診、環境衛生、ごみ収集、し尿処理などの経費、国民健康保険特別会計への繰出金。

【人件費】

職員の給与や手当、首長、議会議員、各種委員などの特別職に支給される報酬など。

【扶助費】

児童福祉法、老人福祉法、障害者基本法などの法令に基づいて支出するものや、町独自で支出する福祉に関わる経費。

【公債費】

町が以前に発行した地方債の元金の返済や利子の支払などに要する経費。

【普通建設事業費】

道路や学校など社会資本整備などに要する経費。

【物件費】

町が支出する消費的性質の経費（賃金、旅費、需用費など）。

【繰出金】

一般会計から国民健康保険や介護保険などの特別会計に支出される経費。

【補助費等】

個人や団体への補助金や一部事務組合への負担金など。

令和4年度一般会計の決算分析

歳入の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較	区 分	令和4年度	令和3年度	比較
地 方 税	1,051,882	1,022,761	29,121	交通安全対策特別交付金	691	829	△ 138
地 方 譲 与 税	70,926	70,617	309	負 担 金 ・ 分 担 金	72,090	74,559	△ 2,469
利 子 割 交 付 金	179	395	△ 216	使 用 料 ・ 手 数 料	60,801	56,736	4,065
配 当 割 交 付 金	3,486	1,824	1,662	国 庫 支 出 金	1,729,607	2,241,256	△ 511,649
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,417	3,696	△ 1,279	県 支 出 金	594,759	682,502	△ 87,743
地 方 消 費 税 交 付 金	251,257	246,699	4,558	財 産 収 入	5,857	29,839	△ 23,982
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	12,209	11,815	394	寄 附 金	1,388,824	522,196	866,628
環 境 性 能 割 交 付 金	5,152	4,651	501	繰 入 金	776,610	342,532	434,078
地 方 特 例 交 付 金	10,610	29,128	△ 18,518	繰 越 金	180,247	218,031	△ 37,784
法 人 事 業 税 交 付 金	14,362	10,645	3,717	諸 収 入	52,362	41,195	11,167
地 方 交 付 税	2,911,749	2,899,527	12,222	地 方 債	570,214	1,119,054	△ 548,840
普通	2,685,885	2,657,666	28,219				
特別	225,864	241,861	△ 15,997				
(一般財源計)	4,334,229	4,301,758	32,471	歳 入 合 計	9,766,291	9,630,487	135,804

※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

歳出の状況

目的別歳出の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較
議 会 費	108,582	74,816	33,766
総 務 費	1,911,707	1,436,160	475,547
民 生 費	2,153,777	2,355,174	△ 201,397
衛 生 費	475,710	570,888	△ 95,178
農 林 水 産 業 費	288,474	270,637	17,837
商 工 費	940,520	463,664	476,856
土 木 費	863,591	976,615	△ 113,024
消 防 費	331,419	350,355	△ 18,936
教 育 費	529,390	1,099,173	△ 569,783
災 害 復 旧 費	92,831	275,508	△ 182,677
公 債 費	1,121,756	1,027,249	94,507
歳 出 合 計	8,817,757	8,900,239	△ 82,482

※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

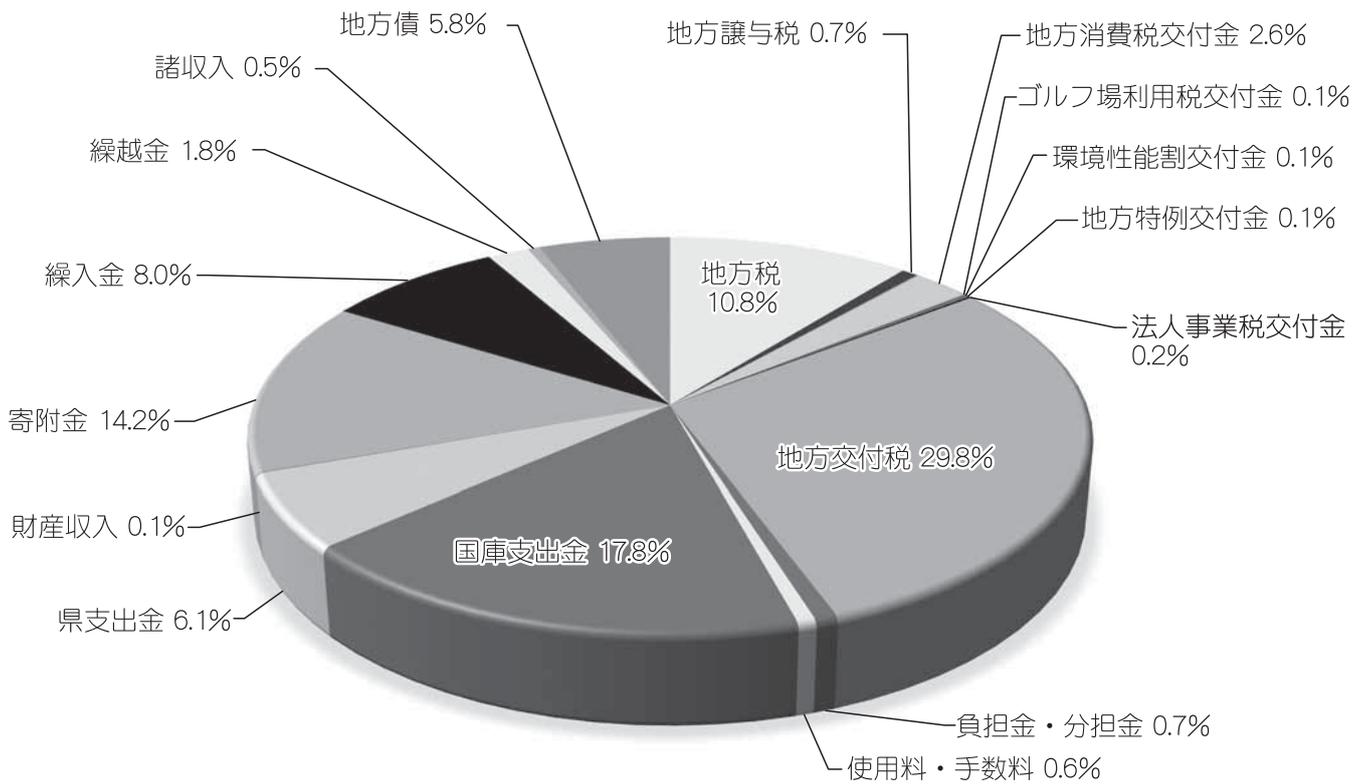
性質別歳出の状況

(単位：千円 %)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較
人 件 費	948,614	982,448	△ 33,834
扶 助 費	1,388,833	1,541,848	△ 153,015
公 債 費	1,121,756	1,027,249	94,507
(義務的経費小計)	3,459,203	3,551,545	△ 92,342
物 件 費	1,605,268	1,117,844	487,424
維 持 補 修 費	40,764	35,712	5,052
補 助 費 等	673,242	676,011	△ 2,769
積 立 金	1,088,490	647,330	441,160
繰 出 金	635,897	628,811	7,086
投 資 的 経 費	1,314,893	2,242,986	△ 928,093
普通建設事業費	1,222,062	1,967,478	△ 745,416
補助 単独	913,327	1,570,802	△ 657,475
災害復旧事業費	308,735	396,676	△ 87,941
災害復旧事業費	92,831	275,508	△ 182,677
歳 出 合 計	8,817,757	8,900,239	△ 82,482

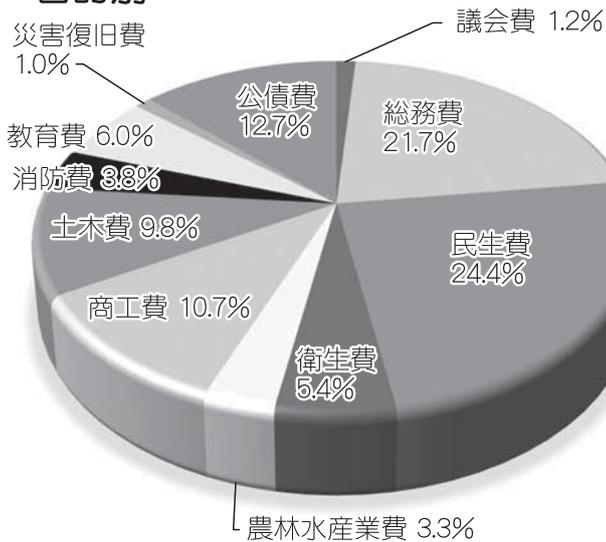
※地方財政状況調査（決算統計）の区分に準じて作成しています。

歳入

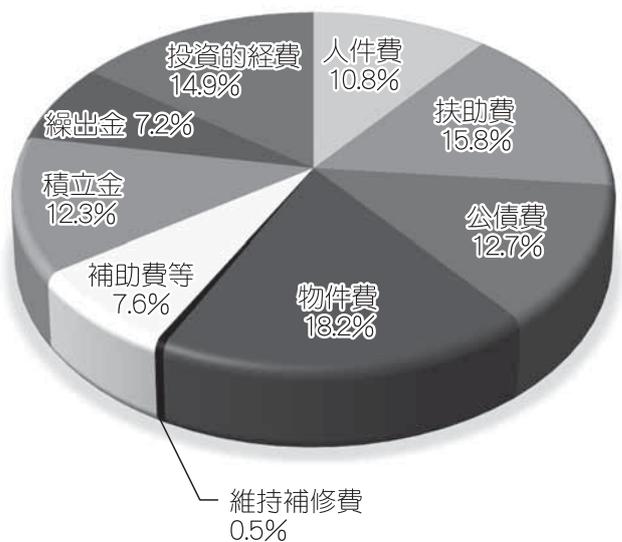


歳出

目的別



性質別



令和4年度に行った主な事業

本町では将来を見据えた町づくりを目指し、甲佐町のまちづくりの基本となる「第7次甲佐町総合計画」に基づきさまざまな事業を行います。その中で、令和4年度に行った主な事業を以下のとおり説明します。

●産業の振興

農林業

農地の保全、優良農地の確保、ため池改修や用排水施設の整備、農業生産基盤の整備、後継者の育成や担い手の確保など多様な振興策を推進します。地域の特性を生かした特産品の生産によって、産地のブランド化を図り、生産から流通まで幅広い農林業の振興を図ります。

◆中山間地域等直接支払交付金事業

14,540千円



【本事業を活用して管理された田園風景(安平地区)】

(担当：農政課)

高齢化などにより耕作放棄地の増加や農地の多面的機能の低下が懸念される中山間地域において、農業生産の維持を図りながら、担い手の育成や農地の多面的な機能の回復を図ることを目的に対象集落へ交付金を交付しました。令和4年度は14地区に交付しました。

財源内訳	
国県支出金	10,905千円
町の負担額	3,635千円

◆多面的機能支払事業

58,171千円



【保全活動に取り組んでいる様子】

(担当：農政課)

(農地維持)

農地や水、地域の良好な環境の維持・保全とその質的向上を図ることを通じ、地域で行う草刈り、水路の泥上げなどの地域ぐるみでの効果の高い取り組みを支援する事業で、令和4年度は30地区取り組みました。

財源内訳	
国県支出額	43,628千円
町の負担額	14,543千円

(施設の長寿命化)

老朽化が進む農地周りの農業用排水路・農道等の長寿命化のための補修・更新などへの取り組みを支援する事業で令和4年度は25地区取り組みました。

◆新規就農者支援事業	(担当：農政課)	1,950千円
	<p>町内で農業を営む認定新規農業者に対し、農業用機械・設備・施設への補助(100万円を上限とし、補助対象経費の10分の5以内の額)を行うことにより、費用負担を軽減することで、新たな農業の担い手を確保し、地域農業の振興を図りました。令和4年度は2名が事業を利用し、トラクターを1台ずつ導入しました。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 1,950千円</p>
【導入したトラクターでの作業風景】		
◆中山間地域総合整備事業	(担当：農政課)	38,491千円
	<p>御船町、益城町および甲佐町が広域連携型により整備する営農飲雑用水、ほ場整備などに関する県営事業の負担を行いました。</p>	<p>財源内訳 町の借入金 24,700千円 町の負担額 13,791千円</p>
【ほ場整備事業を行った内田地区(中横田区)】		
◆糸田地区基盤整備促進事業	(担当：農政課)	3,729千円
	<p>糸田地区基盤整備の事業採択に向け、相続調査などの事前調査を行いました。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 3,729千円</p>
【ほ場整備事業採択に向け事前調査を行った糸田地区】		
◆糸田堰地区農業農村整備事業	(担当：農政課)	4,939千円
	<p>糸田堰土地改良区所有の糸田堰が老朽化しており、農業用水の安定供給を図る改修工事に関する県営事業の負担を行いました。</p>	<p>財源内訳 町の借入金 4,900千円 町の負担額 39千円</p>
【改修工事が進む糸田堰】		

◆農業水路等長寿命化・防災減災事業

4,330千円



【事業を行った田口地区にある幹線用水路】

(担当：農政課)

麻生原堰土地改良区所有の施設が老朽化しており、農業用水の安定供給を図る工事に関する団体営事業の負担を行いました。

財源内訳	
町の借入金	2,900千円
町の負担額	1,430千円

◆防災重点農業用ため池看板設置事業

12,146千円



【防災重点農業用ため池のハザードマップを記載した看板】

(担当：農政課)

防災重点農業用ため池について、防災・減災対策の周知を図るためハザードマップを記載した看板の設置を行いました。

財源内訳	
国県支出金	12,145千円
町の負担額	1千円

◆甲佐町原油価格・物価高騰緊急経済対策事業

9,160千円



【原油価格・物価高騰の影響を受ける施設(イメージ)】

(担当：農政課)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による原油価格及び物価高騰の影響を受け、農業経営に支障をきたしている農家及び法人へ補助することにより、安定した農業経営の継続を図りました。令和4年度は個人経営体201名及び14法人に補助しました。

財源内訳	
その他	9,160千円

◆甲佐町農機具導入事業 (担当：農政課)

3,192千円



【事業で導入したコンバイン】

町内で農業を営む生産者集団、生産組合、集落営農組織及び農業生産法人等に対し、農業用機械導入の補助をすることにより、農作業の効率化、低コスト生産の促進及び農地の保全に取り組む、農業の振興を図ることを目的に補助を行いました。

財源内訳	
町の負担額	3,192千円

令和4年度は3経営体が本事業を利用し、田植機、コンバイン、スライドモアを導入しました。

地域企業・企業立地

地域企業の体質強化とともに、立地環境整備や立地情報の提供、公共用地などの活用による積極的な企業誘致を進めます。企業立地については、「甲佐町国土利用計画」を策定することで立地地域の選定を図るとともに、地域の個性を生かした企業を誘致することで地元雇用環境の充実を図ります。

◆移住定住促進事業 (担当：企画課)

9,350千円



【住宅が建ち並ぶ住宅団地の風景】

甲佐町では、過疎化および少子高齢化の解消を図るため若者世代の定住を促進し、活力のあるまちづくりにつなげることを目的に、40歳未満の一定の条件に該当する方が甲佐町に居住用住宅(建売住宅含む)を建築された場合に助成しており、令和4年度は20世帯に助成しました。

財源内訳	
国県支出金	4,207千円
町の負担額	5,143千円

商業・サービス業

個々の店舗の自助努力を促し、魅力ある商店街づくりと空き家バンクを活用した商業の活性化によるにぎわい空間の整備、商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実を図ります。

◆ふるさと甲佐応援寄付金

805,493千円



【ふるさと甲佐応援寄付金】

(担当：企画課)

さまざまな人々の参加による個性豊かな活力あるふるさとづくりを行うため、本町のまちづくりに賛同する人々から寄附金(ふるさと甲佐応援寄附金)をいただき、地域振興および経済の発展を図ると同時に、本町にお

財源内訳	
町の負担額	805,493千円

ける自主財源の確保を行いました。令和4年度は、新たなポータルサイトの導入や返礼品の充実により、更なる寄附金額の増加に取り組みしました。

◆新型コロナウイルス感染症対策緊急支援資金利子補給事業

609千円



【利子補給補助金の申請受付の様子】

(担当：企画課)

新型コロナウイルス感染症の影響により、熊本県金融円滑化特別資金(新型コロナウイルス感染症対策分【県独自分】・セーフティネット4号分・危機関連保証分)の融資を受けた方に対し、融資金の返済に係る利子補給を行いました。

財源内訳	
町の負担額	1千円
その他	608千円

◆キャッシュレス決済プレミアムポイント還元支援事業

27,890千円

(担当：企画課)



【PayPayポイント30%還元チラシ】

地域経済の回復及び地域全体へのキャッシュレス決済の導入促進による新しい生活様式の実践を通じた新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることを目的として、町内の対象店舗に

「PayPay」を利用して買い物をするとお会計金額の最大30%が「PayPay」ポイントとして付与されるキャンペーン事業を実施しました。

財源内訳	
町の負担額	440千円
その他	27,450千円

◆ふるさと応援チケット発行事業

32,774千円

(担当：企画課)



【ふるさと応援チケット】

新型コロナウイルス感染症拡大における原油価格・物価高騰等に直面する生活者や事業者に対する支援を目的として、住民ひとり当たり3,000円(1,000円×3枚)を発行する「ふるさと応援チケット発行事業」を実施しました。

財源内訳	
町の負担額	399千円
その他	32,375千円

◆電力ガス等価格高騰重点支援事業

13,409千円

(担当：企画課)



【重点支援事業のお知らせチラシ】

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、原油価格または電力ガス等の価格高騰により経済的負担を強いられている町内事業者等を支援するため、個人事業者40,000円、法人80,000円の支援金を交付しました。

財源内訳	
町の負担額	7,030千円
その他	6,379千円

観光・イベント

観光資源の保全・活用をはじめ、交流拠点施設や熊本甲佐総合運動公園などを活用したイベントなど、既存のイベントや祭りの内容の充実、広域連携による観光ルートの開発、地域や民間団体と連携した観光推進体制の強化などを図り、自然と歴史・文化にふれあえる魅力ある通年型の観光地づくりを推進します。

◆交流拠点施設管理運営事業

1,775千円



【令和2年度にオープンした
古民家交流拠点施設】

(担当：企画課)

古民家交流拠点施設(旧西村民俗資料館)および井戸江峡交流拠点施設(旧井戸江峡キャンプ場)の2施設について、指定管理者制度を活用した施設運営を行いました。

財源内訳
町の負担額 1,775千円

◆熊本甲佐総合運動公園整備事業

71,170千円



【全面供用開始した
「熊本甲佐総合運動公園」】

(担当：企画課)

安津橋上流左岸の緑川河川敷に交流拠点施設として、熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」(サッカー場2面、テニスコート8面、野球場、ソフトボール場、管理棟、多目的広場、遊歩道、外構、駐車場、修景等)の整備が完了し、全施設の供用を開始しました。

財源内訳
国県支出金 34,780千円
町の借入金 36,300千円
町の負担額 90千円

◆熊本甲佐総合運動公園管理事業

22,943千円



【熊本甲佐総合運動公園野球場】

(担当：社会教育課)

緑川を軸とした地域の活性化、町民の健康増進、体力向上の場、また各種目の大会やイベントの誘致など、町内外から様々な世代が集う水辺拠点として、地域交流の促進を図ることを目的に総合運動公園の管理を行いました。

財源内訳
使用料 7,037千円
国県支出金 6,022千円
町の負担額 9,884千円

◆総合運動公園整備及びオープン記念事業



【熊本甲佐総合運動公園
完成式典の様子】

(担当：企画課)

令和4年度に全面供用開始する熊本甲佐総合運動公園「緑川リバーサイドパーク」の標識(入口標柱、総合案内板、観光案内板)の整備を行い、令和5年3月開催の緑川スポーツフェスタと合わせて完成式典を行いました。

9,677千円

財源内訳	
国県支出金	8,670千円
町の負担額	1,007千円

●都市基盤の整備

道路

国道・県道の改良や交通安全施設などの整備を引き続き要請し、広域的な道路ネットワークの構築につなげます。町道については、将来を見据えた計画的な整備を図り、生活道路については、全ての住民が安心して通行できる道路整備を推進します。

◆道路改良事業（担当：建設課）

394,404千円



【町道上揚井戸江線改良完成写真】

道路改良事業については、道路整備5カ年計画に基づき、安心して安全に通行できる道路整備を進めています。

令和4年度は、早川下糸田線（糸田地区）、古閑八丁線（白旗地区）、大峯線（上早川地区）、中早川北早川線（北早川地区）、上扬井戸江線（安平地区）、西寒野打越線（東寒野地区）、大町塔ノ木線（早川地区）、浅井塔ノ木線（早川地区外）の8路線の事業を行いました。

財源内訳	
国県支出金	232,041千円
町の借入金	161,500千円
町の負担額	863千円

◆道路舗装補修事業（担当：建設課）

51,357千円



【町道下豊内有安線舗装完成写真】

経年劣化により舗装のひび割れや凹凸があり緊急性を有する路線について、安心して安全に通行できるようにするため舗装補修を進めていきます。

令和4年度は、北原団地線（北原地区）・小鶴線（下横田地区）・下豊内有安線（豊内地区）の老朽化した舗装の補修を行いました。

財源内訳	
国県支出金	28,041千円
町の借入金	22,900千円
町の負担額	416千円

◆橋りょう補修事業（担当：建設課）

94,549千円



【町道幸野線・幸野橋完成写真】

長寿命化計画に基づき補修が必要な橋などの橋りょうの補修を行い、橋りょうの長寿命化と道路施設としての安全性の向上を図ります。

令和4年度は、横丁橋（岩下地区）・尾北片目橋（東寒野地区）の補修設計及び甲北橋（岩下地区）・宮園橋（西寒野地区）・片目橋（東寒野地区）の補修工事を行いました。

財源内訳	
国県支出金	56,951千円
町の借入金	37,100千円
町の負担額	498千円

また、幸野橋（上早川地区）・住宅橋（上扬地区）の架け替え工事を行いました。

●生活環境の整備

住宅・住環境

若者の定住を図るための民間活用による快適な住宅環境づくりや、子育て世代に優しい定住施策を進めます。安全で快適に暮らせる町営住宅を維持するため、「甲佐町公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的な予防保全を図るとともに、子育て世帯の定住促進に寄与する町営住宅の活用を推進します。

◆町営住宅管理事業

10,432千円



【乙女団地の様子】

(担当：建設課)

本町の町営住宅（上揚団地、吉野団地、立岩団地、下横田団地、浅井団地、早川第一団地、早川第二団地、早川第三団地、早川第四団地、甲佐団地、乙女団地、白旗団地）について、良好な住環境を維持するために施設全体の維持管理を行いました。

財源内訳	
使用料	9,700千円
町の負担額	732千円

上水道・生活排水処理

上水道は、健全な経営体制の確立に努めつつ、効率的な水道施設の改築・更新や維持管理を行い、水道水の安全で安定的な供給を図ります。上水道以外の簡易水道施設及び飲料水供給施設は、維持管理に努めるとともに統合整備を進め、清浄な水の安全で安定的な供給を図ります。生活排水対策は、合併処理浄化槽の普及を促進するとともに適正管理を促進し、公共用水域の水質汚濁防止対策を推進します。

◆水道事業特別会計 (担当：環境衛生課)

257,451千円



【令和4年度に実施した町道西寒野打越線の水道管布設状況】

本会計は、安心・安全な飲料水を安定的に確保・供給するために水道料金で運営する公営企業会計です。令和4年度の主な建設改良工事としては、老朽管布設替工事及び第1水源地管理棟外構工事を行いました。

財源内訳	
使用料	140,786千円
町の負担額	5,000千円
その他	111,665千円

◆浄化槽設置整備事業 (担当：環境衛生課)

32,350千円



【一般家庭に設置される合併処理浄化槽】

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併処理浄化槽の設置者に対して補助金を交付しました。また、単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する場合には補助額の加算も行いました。

財源内訳	
国県支出金	16,965千円
町の負担額	15,385千円

環境

ごみの減量化・再資源化を促進するとともに廃棄物処理施設の延命化と広域での施設整備を推進します。

◆ごみ処理事業 (担当：環境衛生課)

10,397千円



【ごみ収集の様子】

各家庭から排出される燃やすごみの収集運搬を行うため、町内225カ所に集積所を設置し、各地区週2回の収集運搬を行いました。

財源内訳	
町の負担額	10,341千円
その他	56千円

◆リサイクル推進事業 (担当：環境衛生課)

11,394千円



【リサイクルステーションの様子】

各家庭から排出される資源ごみなどを分別収集するために、町内56カ所にリサイクルステーションを設置し、地域の皆さんの協力により資源ごみ収集を行いました。

財源内訳	
町の負担額	9,894千円
その他	1,500千円

◆御船町甲佐町衛生施設組合負担金

100,715千円



【御船町甲佐町衛生施設組合】

(担当：環境衛生課)

各家庭から排出されるごみ処理のため、甲佐町と御船町の2町で構成する「御船町甲佐町衛生施設組合」へ負担金を支出しました。

財源内訳	
町の負担額	100,715千円

◆し尿処理対策事業

(担当：環境衛生課)

49,711千円



【御船地区衛生施設組合】

各家庭から排出されるし尿処理のため、甲佐町・御船町・益城町・嘉島町の4町で構成する「御船地区衛生施設組合」へ負担金を支出しました。

財源内訳	
町の負担額	49,711千円

安心・安全

迅速に対応できる消防、防災体制づくりを進めるとともに、関係機関との連携による地域一体となった交通安全対策と防犯対策を進めます。また、上益城5町連携による消費生活相談室の開設を継続的に実施し、消費生活相談体制の充実を図ります。

◆上益城消防組合負担金 (担当：総務課) 168,269千円



【上益城消防署訓練の様子】

消防・防災など住民の安全・安心な生活を支援するために、甲佐町、御船町、嘉島町および山都町で構成された上益城消防組合へ負担金を支払いました。

財源内訳
町の負担額 168,269千円

◆耐震性貯水槽(防火水槽)設置事業 26,299千円



【東寒野地区の耐震性貯水槽】

(担当：総務課)
火災発生時に消火活動がスムーズに行われるように、水利のない地域に耐震性貯水槽(防火水槽)を計画的に設置しています。本年度は町内3カ所(東寒野、上早川2区、上早川4区)に設置しました。

財源内訳
国県支出金 8,229千円
町の借入金 18,000千円
町の負担額 70千円

◆消防小型動力ポンプ付積載車購入事業 12,171千円



【役場分団小型ポンプ付積載車】

(担当：総務課)
消火活動に不可欠な消防車両のうち、老朽化した車両を計画的に更新しています。令和4年度は、小型動力ポンプ付積載車普通車1台、軽自動車を1台更新しました。

財源内訳
町の借入金 12,100千円
町の負担額 71千円

◆北早川地区消防格納庫設置事業 10,437千円



【建て替えた北早川地区消防格納庫】

(担当：総務課)
建築後40年経過し老朽化が進んでいたため、格納庫の建て替えを行いました。

財源内訳
町の借入金 10,000千円
町の負担額 437千円

◆ 通学路等の安全確保事業	385千円	
	(担当：くらし安全推進室) 児童や生徒の見守りのために 幹線道路や通学路沿いに防犯カ メラを4基設置しました。	財源内訳 町の負担額 385千円
【乙女地区に設置した防犯カメラ】		
◆ 防災対策事業 (担当：くらし安全推進室)	622千円	
	災害時の防災・減災の知識や 技能を身につけ、地域が協力し 合い被害を最小限に食い止める ための防災士を養成する講座 「こうさ防災塾」を開催し、34 名が防災士に合格しました。	財源内訳 町の負担額 106千円 その他 516千円
【防災士養成講座「こうさ防災塾」の開催風景】		
◆ 内水対策事業 (担当：建設課)	7,718千円	
	町内で発生する内水被害の防 止、軽減を図るため、令和4年 度は、内田川(下横田地区)・宮 ノ尾川(中横田地区)・南谷川(豊 内地区)・竜野川(上早川地区)・ 松ノ尾川(東寒野地区)・浦田川 (北早川地区)・安平川(安平地 区)の土砂撤去を実施して内水 被害軽減を図りました。また、 船津地区の馬門川周辺と大町地 区の内水対策調査設計を行いました。	財源内訳 町の借入金 7,700千円 町の負担額 18千円
【内田川土砂撤去完了状況】		
◆ 消費生活相談事業 (担当：福祉課)	548千円	
	上益城5町連携で消費生活相 談窓口を開設し、専門相談員を 配置することで相談体制の充実 を図りました。主な支出は人件 費および旅費です。	財源内訳 国県支出金 273千円 町の負担額 275千円
【消費生活相談室での電話相談風景】		

◆電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

71,600千円



【給付金申請受付の様子】

(担当：福祉課)

世帯全員の令和4年度分の住民税均等割が非課税である世帯や、予期せず家計が急変し、住民税が非課税である世帯と同様の事情にあると認められる世帯等に対して、1世帯あたり5万円を給付しました。

財源内訳
国県支出金

71,600千円

●健康・福祉の向上

地域福祉

全ての住民が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに向けて、総合的な支援を身近な地域で行う地域共生社会の構築に努めます。

◆社会福祉協議会経常経費補助事業

12,000千円



【甲佐町地域福祉活動
計画策定委員会の様子】

(担当：福祉課)

町民のみなさんの福祉の向上のため、甲佐町社会福祉協議会の活動にかかる経費の補助を行いました。

財源内訳	
町の負担額	12,000千円

◆民生委員・児童委員協議会補助事業

3,712千円



【民生委員・児童委員協議会
研修会の様子】

(担当：福祉課)

民生委員・児童委員協議会の活動に対する運営補助金を交付し、地域住民からの様々な相談や見守り活動を行うことで福祉の増進を図りました。

財源内訳	
国県支出金	385千円
町の負担額	3,327千円

高齢者福祉

高齢者がいつまでも健康で住み慣れた地域で安心して暮らし、生きがいをもって生活できるように、介護予防をはじめ超高齢社会に配慮した在宅福祉サービスの充実と生きがい対策の充実など高齢者がいきいきと暮らせる長寿社会を目指します。

◆敬老事業 (担当：福祉課)

2,510千円



【百歳高齢者祝い品伝達の様子】

長年にわたり社会に貢献してこられた高齢者に対し、敬老の日に合わせて、100歳到達者および88歳到達者へ祝い金等を贈呈しました。

財源内訳	
町の負担額	2,045千円
その他	465千円

◆高齢者保健・介護予防一体化事業

2,502千円



【体力測定会（握力測定）の様子】

（担当：健康推進課）

健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指して、病気の発症予防・重症化予防のための高齢者保健事業と生活機能の維持のための介護予防事業（体力測定・健康教育）を延べ326人に実施しました。

財源内訳	
町の負担額	12千円
その他	2,490千円

◆老人ホーム入所措置費

（担当：福祉課）

94,052千円



【緑川荘ネイル体験会の風景】

町内・外の養護老人ホーム入所者に係る生活費および施設事務費を負担しました。

財源内訳	
町の負担額	78,473千円
その他	15,579千円

次世代育成

子育て家庭への支援を通して、健やかに生まれ育つことができる総合的で利用しやすい子育てサービスを充実します。

◆児童手当

（担当：福祉課）

163,050千円



【福祉課窓口での児童手当申請受付の様子】

子育て世代に対して少子化対策の一環として、中学3年生までの子どもの養育者に児童手当の給付を行い、子育てに対する金銭的な不安の解消を図るなど、子育て支援を行いました。

財源内訳	
国県支出金	137,914千円
町の負担額	25,136千円

◆保育の実施

（担当：福祉課）

483,684千円



【保育園】

保育を必要とする子どもを預かる保育園などに対し、必要な費用を支払いました。

財源内訳	
保育料	19,746千円
国県支出金	345,776千円
町の借入金	15,000千円
町の負担額	103,162千円

◆放課後児童健全育成事業

10,864千円



【放課後児童クラブ】

(担当：福祉課)

昼間に保護者が家庭にいない小学校就学児童に、授業終了後、適切な遊びや生活の場を与え、健全育成を図るため、甲佐小学校地内の専用施設を利用したの「くるみクラブ」、白旗福祉ふれあいセンターを利用したの「げんきクラブ」、竜野地区では民家を利用したの「ゆうぐれハウス」で事業を行いました。

財源内訳	
国県支出金	7,151千円
町の負担額	3,713千円

◆子ども医療費助成事業 (担当：福祉課)

45,528千円



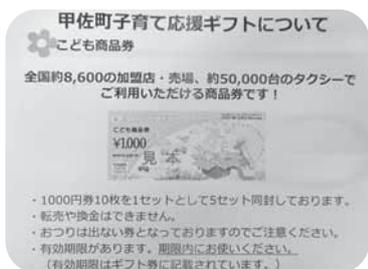
【福祉課窓口での子ども医療申請受付の様子】

子どもの健康の保持、健全な育成および子育て支援のため、満18歳までの子どもの医療費の一部負担金を助成、県内保険医療機関の窓口無料化を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	2,772千円
町の借入金	26,000千円
町の負担額	16,756千円

◆出産子育て応援交付金事業

6,071千円



【子育て応援ギフトお知らせ】

(担当：健康推進課)

すべての妊産婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠時から出産・子育てまで、身近な伴走型相談支援と経済的支援を組み合わせた「出産子育て応援交付金事業」を実施しました。令和4年度は、出産応援ギフト（現金5万円）を76名、子育て応援ギフト（5万円分のトイカード）を39名に支給しました。

財源内訳	
国県支出金	4,873千円
町の負担額	1,198千円

◆がんばれ妊産婦応援給付金給付事業

5,200千円



【福祉課窓口での申請受付の様子】

(担当：福祉課)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響のもと出産した産婦及び児童への子育て支援として、臨時定額給付金の給付を行いました。

財源内訳	
国県支出金	5,200千円

◆保育対策総合支援事業

1,985千円



【保育園イメージ】

(担当：福祉課)

新型コロナウイルス感染症の対応策として消毒液等購入する保育園に対し、必要な経費の補助を行いました。

財源内訳	
国県支出金	1,985千円

障がい者福祉

障がいのある人もない人も、互いに支え合い、地域でいきいきと明るく豊かに暮らすことのできる社会を目指し、障がいのある人の自立と社会参加の促進を図ります。

◆介護給付・訓練等給付費給付事業

372,980千円



【ワークセンターあゆの里
(就労支援事業所)の
利用者の花植え活動様子】

(担当：福祉課)

障がいのある方が必要とするサービスの利用に対し、費用の給付を行いました。主な内容は、施設入所、居宅介護、短期入所、生活介護、グループホーム、就労継続支援などがあります。

財源内訳	
国県支出金	289,139千円
町の負担額	83,841千円

◆上益城障がい者相談支援事業

6,064千円



【相談支援センターかけはしの
パンフレット】

(担当：福祉課)

障がいのある方の相談支援業務について、上益城圏域共同で事業を委託しました。知的障がい・身体障がいの方の相談を甲佐町の「相談支援センターかけはし」、精神障がいの方の相談を益城町の「相談支援事業所アントニオ」が実施しています。

財源内訳	
町の負担額	1,541千円
その他	4,523千円

健康づくり

「自分の健康は自分で守る」ことを基本とし、地域・行政・医療機関などが連携・協力しながら、住み慣れた地域でいつまでも健康でいきいきと暮らせる健康社会を目指すとともに健康づくりが気軽に実践できる環境づくりを総合的に進めます。

◆新型コロナワクチン接種事業

66,942千円



【接種用ワクチン（モデルナ社製）】

（担当：健康推進課）

新型コロナウイルス感染症対策として、令和3年度に引き続き、集団接種と医療機関での個別接種を組み合わせ、ワクチンの接種を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	66,930千円
町の負担額	12千円

◆予防接種事業（担当：健康推進課）

19,678千円



【予防接種手帳】

感染症予防とまん延防止を目的として、乳幼児・児童に対し予防接種を実施しました。また、65歳以上の高齢者を対象として、病気のり患や重症化を予防するために、インフルエンザや成人用肺炎球菌（対象年齢者に）の予防接種を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	295千円
町の負担額	19,383千円

◆乳幼児健診事業（担当：健康推進課）

931千円



【4・7カ月児健診の様子】

乳幼児期における疾病の早期発見及び子育て支援につなげるため、4カ月児・7カ月児健康診査、1歳6カ月児・3歳児健康診査を実施し、心身の発達確認や、保健・栄養指導、育児相談などを行いました。令和4年度の受診者数は、延べ242人でした。

財源内訳	
国県支出金	219千円
町の負担額	712千円

◆がん検診事業（担当：健康推進課）

16,064千円



【がん検診車】

死亡原因の第1位であるがんの予防及び早期発見のため、40歳以上の方(子宮頸がんは20歳以上・乳がんは30歳以上の女性、前立腺がんは50歳以上の男性)を対象に各種がん検診を実施しました。(延べ受診者数7,005人)

財源内訳	
国県支出金	153千円
町の負担額	15,911千円

◆健康ポイント事業 (担当：健康推進課)

571千円



【アプリ画面】

熊本連携中枢都市圏構想事業の一つとして熊本市が開発したスマートフォン専用アプリ「もっと健康！げんき！アップくまもと」を多くの町民に活用してもらえるよう、ポスターの掲示やパンフレット設置、健診結果説明会等での周知を行いました。

財源内訳	
町の負担額	571千円

社会保障

住民が健康で安心して暮らすことができるよう、各種社会保障制度の適切な運営を目指します。また、熊本県後期高齢者医療広域連合と連携し、後期高齢者医療制度の円滑な運営を図ります。

◆国民健康保険特別会計 (担当：住民生活課)

1,510,617千円



【特定健診の様子】

国民健康保険特別会計においては、病気やけがに備えて、加入者の皆さんに納めていただく国民健康保険税や国・県からの補助金などを財源として、医療機関に対する町負担分の医療費支払や特定健診などの保健事業を実施しています。高齢化の進

財源内訳	
保険税	241,664千円
国県支出金	1,124,788千円
町の負担額	74,657千円
その他	69,508千円

行や医療技術の高度化などにより年々増加傾向にある医療費の削減を目的に、生活習慣病の重症化予防に重点を置いた特定保健指導に結び付けるため、特定健診の受診勧奨を積極的に行うとともに、令和3年度に引続き個別医療機関における特定健康診査事業を実施しました。平成30年度からの「国保財政運営の都道府県化」に伴い保険者となっている熊本県に対し、国保事業費納付金として365,879,019円を納付しました。また、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、世帯主の収入の減少が見込まれるなど一定の要件に該当する世帯に対し、国民健康保険税の減免を実施しました。

◆介護保険特別会計 (担当：福祉課)

1,592,786千円



【地域の介護予防教室
「いきいき100歳体操」の様子】

介護サービスなどが必要と認められた方の、要介護・要支援状態の重度化防止や改善を図り、自立した日常生活を営むために必要な在宅サービス・施設サービスなどを受けるための特別会計です。地域包括ケアシステム(住まい・医療・介護・予防・生活支援)の実現に向けて各種施策を行いました。

財源内訳	
保険料	259,188千円
国県支出金	655,339千円
町の負担額	250,016千円
その他	428,243千円

◆後期高齢者医療特別会計

178,266千円



【健康寿命パンフレット】

(担当：住民生活課)

後期高齢者医療制度は、長年、社会に貢献してこられた75歳以上(一定の障がいがあると認定された65歳以上の方を含む)の加入者の皆さまが病気やけがなどで医療を受けるための制度で、熊本県後期高齢者医療広域連合がその運営にあたっています。町では、広域連合と連携し

財源内訳	
保険料	112,941千円
町の負担額	16,008千円
その他	49,317千円

ながら、各種届出の受付や被保険者証の引き渡し、保険料の徴収などを行い、加入者の皆さまが納付された保険料については、町の負担分と合わせて後期高齢者医療特別会計から納付金として支出しています。令和4年度の納付金は、171,115,200円(前年度と比較して15,428,658円増)となりました。また、加入者の皆さまの健康維持・増進を目的とした医科および歯科口腔健康診査事業を継続実施しました。

●教育・文化の向上

学校教育

家庭・地域・学校の連携による教育体制の充実や教育環境の整備により、「生きる力」「豊かな心」を持つ児童生徒を育成します。県立甲佐高等学校の存続に向けた入学者の確保につながる学校の魅力づくりのための施策を促進します。

◆外国語指導助手 (ALT) 配置事業

4,007千円



【中学校での授業の様子】

(担当：学校教育課)

中学校に外国語指導助手 (ALT) 1名を配置し、外国語担当教員の助手として外国語授業の補助を行いました。また、町内4校の小学校へも週2回訪問し、小学校における外国語活動も行いました。

財源内訳
町の負担額 4,007千円

◆学校 ICT 機器整備等事業

28,626千円



【乙女小研究発表時の授業の様子】

(担当：学校教育課)

平成29年度から令和元年度までに導入した学校での事務用パソコン・電子黒板等のリース料、これらを含むICT機器の調整、障害対応等の保守管理業務、ICT授業の支援および教材作成等によるICT機器活用のための教育支援業務を行いました。

財源内訳
国県支出金 13,283千円
町の負担額 15,343千円

◆小学校トイレ整備事業 (担当：学校教育課)

17,556千円



【完成した乙女小の屋外便所】

乙女小学校の屋外便所は老朽化しているため、洋式水洗化およびバリアフリーの屋外便所を新築しました。

財源内訳
国県支出金 5,910千円
町の借入金 11,646千円

◆特別支援教育支援員配置事業

24,453千円



【授業支援の様子】

(担当：学校教育課)

児童生徒の集団生活への適応指導および学習指導の補助のため、15名の特別支援教育支援員を各小中学校に2～4名配置しました。

財源内訳
町の負担額 24,453千円

◆外国語力向上対策事業 (担当：学校教育課) 1,648千円



【甲佐小学校での授業の様子】

小学校外国語活動の先行実施を進め、語学力向上および国際化時代に対応できる子どもの育成のために、小学校低中学年にも、外国語指導助手1名を配置しました。

財源内訳	
町の負担額	1,648千円

◆学校給食センター管理事業 (担当：学校教育課) 50,726千円



【完成した料理の重さを量り配缶している様子】

町内の小中学校や松橋西支援学校上益城分教室に安心安全な給食を提供するために給食センターの管理運営を行いました。

財源内訳	
町の負担額	49,249千円
その他	1,477千円

◆甲佐高校の魅力ある学校づくり支援事業 (担当：企画課) 5,799千円



【オンライン対話型キャリア教育プログラム学習の様子】

本町唯一の高校である甲佐高校の魅力ある学校づくりを支援し、入学者数の確保や町の活性化につながる取り組みを行っています。甲佐高校内に開設した公営塾「あゆみ学舎」による生徒たちの学習サポートや総合探求の授業の時間を活用したキャリア教育学習を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	1,000千円
町の負担額	2,298千円
その他	2,501千円

◆【感染症関連】 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 (担当：学校教育課) 28,880千円



【購入したパソコンの一部】

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小中学校の教室用、校務用パソコン143台及び小学校の電子黒板25台を整備しました。

財源内訳	
国県支出金	28,550千円
町の負担額	330千円

◆学びの場分散環境整備事業

830千円



【アコーディオンパーテーション】

(担当：学校教育課)

感染症対策のために教室を分散して使用できるよう、乙女小と龍野小の理科室にブラインド(カーテン)を設置しました。また、甲佐中には、移動式のアコーディオンパーテーションを購入しました。

財源内訳
国県支出金

830千円

◆物価高騰に伴う学校給食費等負担軽減対応事業

2,891千円



【給食の食材を洗っている様子】

(担当：学校教育課)

原油価格、物価高騰による児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、食材価格の高騰に伴う学校給食食材費の増額分に対し、補填による支援を行いました。

財源内訳
国県支出金

2,891千円

社会教育

生涯学習センター、公民館、学校施設、図書室などを有効活用した生涯学習活動の充実により、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」学習できる支援体制づくりを進めます。

◆地域学校協働活動推進員配置事業

261千円



【学習支援活動(稲刈り)の様子】

(担当：社会教育課)

学校・家庭・地域が連携して、授業等における学習補助や教員の補助など、学校の要望に応じた支援を行い、地域の教育力の向上と学校支援活動の充実に取り組みました。

財源内訳
国県支出金
町の負担額

146千円

115千円

◆公民館主催事業 (担当：社会教育課)

129千円



【町民大学(岸信子氏(宇土市)による講演会)】

町民の学習意欲の向上や生涯学習の推進のため、公民館主催講座として5講座(町民大学2回、郷土の歴史を訪ねて1回、ステップアップ講座3回、子ども講座2回、出前講座41回)および公民館大会を開催しました。

財源内訳
町の負担額

129千円

芸術・文化

これまで培われてきた歴史や文化の継承とともに、将来の文化発展に寄与する芸術・文化活動や「陣ノ内城跡」をはじめ文化財の保護・保存・活用などを推進します。

◆史跡「陣ノ内城跡」保存活用計画策定事業

3,001千円



【史跡陣ノ内城跡
保存活用計画策定委員会の様子】

(担当：社会教育課)

国指定史跡「陣ノ内城跡」の本質的価値とその構成要素を明らかにし、その適切な保存と活用方法、さらには将来的な整備の方向性を取りまとめ、「史跡陣ノ内城跡保存活用計画」として策定するために、「史跡陣ノ内城跡保存活用計画策定委員会」を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	1,500千円
町の負担額	1千円
その他	1,500千円

◆史跡「陣ノ内城跡」内びわんくび(農道)復旧事業

3,061千円



【「びわんくび」の現況
(写真左側が崖となっています)】

(担当：社会教育課)

陣ノ内城跡の北東に所在する幅約2m、長さ約10mのコンクリート敷きの里道(農道=通称「びわんくび」)の東側は約6mの崖となっており、近年の大雨で地元利用者の車両や見学者の通行が危険な状況にあります。そのため、「びわんくび」の東側崖を補強・復旧し、史跡の保護と車両や見学者が安全に往来できるようにします。令和4年度は、測量設計を実施しました。

財源内訳	
国県支出金	1,530千円
町の借入金	1,500千円
町の負担額	31千円

スポーツ

地域に根ざした総合型地域スポーツクラブなどの充実と人材の育成、町内スポーツ施設の有効活用と広域的利用の推進などによる誰でも気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。また、熊本甲佐10マイル公認ロードレースへの地元選手の出場促進など、小中学生のスポーツに親しむ機会の拡大を図ります。

◆熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会負担金 3,200千円



【第47回大会 10マイルの部 スタート写真】

(担当：社会教育課)
 県内外の中・高校生はもとより、全国の実業団や大学などから陸上長距離競技者が集う「熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会」を12月4日に開催しました。本大会の開催により、本町を一大スポーツイベントの場としてPRするとともに、中・高校生の長距離陸上競技者の発掘、育成に努めます。

財源内訳	
町の負担額	1,906千円
その他	1,294千円

人権

行政、地域、企業、学校などにおける人権教育や啓発を推進し、全ての人々の人権が尊重される社会の実現を目指します。

◆人権週間事業 (担当：町民センター) 158千円



【町民集会の講演の様子】

令和4年度は、12月4日から10日までを人権週間とし、その期間中、小・中・高校生の人権作品展示、企業啓発、街頭啓発、広報巡回活動を実施しました。

また、期間中の10日(土曜日)に町民集会を開催し、「ハンセン病の歴史と患者人権」という演題で、菊池恵楓園の園長箕田誠司様に講演していただきました。その後、パレードも実施しました。

財源内訳	
国県支出金	158千円

◆もちつき大会 (担当：町民センター) 3千円



【子どもたちが協力してもちをついている様子 (写真は令和元年度の様子)】

児童館主催の交流事業として、今では見る・体験することの少ない石臼と杵を使ったもちつきを地元の高齢者の方と一緒に実施します。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、交流は実施せず、地域のお年寄りへ餅の配布のみ実施しました。

財源内訳	
町の負担額	3千円

●協働による施策の推進

住民との協働

「住民主役」という視点のもと、住民、民間、行政が互いに協力し、自立した自治体として地域の実情に応じたまちづくりと「協働のまちづくり」を推進します。

◆選挙



【ポスター掲示板設置の様子
(町議会議員一般選挙時の役場前)】

(担当：総務課)

令和4年度において、令和4年7月10日に第26回参議院議員通常選挙が執行されました。また、議員定数が11人となった甲佐町議会議員一般選挙は昭和30年甲佐町合併後、初の無投票でした。

その他、令和5年4月29日任期満了に伴う熊本県議会議員一般選挙の準備を行いました。

14,791千円

財源内訳	
国県支出金	9,572千円
町の負担額	5,219千円

◆広報こうさ発行事業



【リニューアルした「広報こうさ」】

(担当：企画課)

町の総合情報誌として毎月1回、全世帯に配布する町広報紙「広報こうさ」について、撮影機材の整備、ユニバーサルフォントの導入、紙面構成の変更による記事の視認性向上を図るなどし、全体をリニューアルしま

した。引き続き、広報紙の情報発信力を高め、町民が町への愛着や誇りを持つきっかけになるような「広報こうさ」を目指します。

2,796千円

財源内訳	
国県支出金	1,135千円
町の負担額	1,661千円

高度情報化

住民誰もが大きく変化する社会・経済・生活環境をより豊かに実感できる手段として、人・もの・情報が活発に交流できるよう情報ネットワークの充実を図るとともにデジタル化に対応したまちづくりを目指します。

◆総合電算システム事業 (担当：企画課) 68,414千円

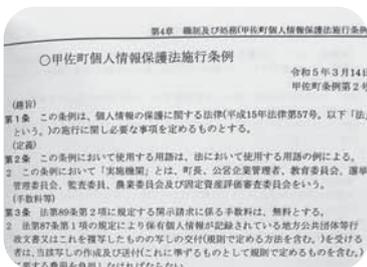


【総合電算システムを使用して業務を行う町職員】

町行政において、住民情報や税情報などの事務を効率的に取り扱うために導入している「総合行政システム」を運用するための経費です。

財源内訳
町の負担額 68,414千円

◆改正個人情報保護法対応支援業務委託事業 2,200千円

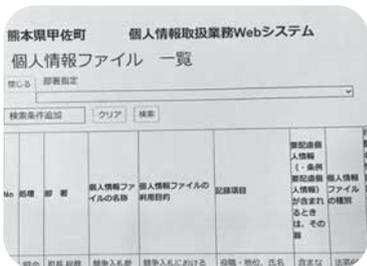


【甲佐町個人情報保護法施行条例 (一部)】

(担当：総務課)
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、個人情報保護制度に関する例規の見直しを行いました。

財源内訳
町の負担額 2,200千円

◆個人情報ファイル簿整備支援業務委託事業 2,750千円



【個人情報ファイル簿を公表】

(担当：総務課)
個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、必要となる個人情報ファイル簿を整備しました。

財源内訳
町の負担額 2,750千円

◆QRコード対応システム改修業務委託事業

7,252千円



【地方税お支払いサイト】

(担当：税務課)

令和5年度から地方税共通納税システムの対象税目に固定資産税、軽自動車税(種別割)が追加されることに伴い、納付書に印字されるeL-QRコードやeL番号を活用した電子納付に対応するシステム改修を行いました。

財源内訳
町の負担額

7,252千円

これによって、軽自動車税と固定資産税に限り、令和5年度からインターネット上の「地方税お支払いサイト」を利用した電子納付や全国ほぼすべての金融機関窓口での納付が可能となりました。

◆マイナポイント普及促進事業

660千円



【マイナポータル端末を使用して業務を行う町職員】

(担当：企画課)

マイナポイントの普及促進のため、マイナポータル端末を利用し、マイナンバーカードの申請受付からマイナポイント設定補助を行うための経費です。

財源内訳
国県支出金

660千円

◆ペーパーレス会議システム導入事業

16,101千円



【会議システムを使用する町職員】

(担当：企画課)

議会や会議資料の共有の迅速化、会議進行の円滑化、効率化及びペーパーレス化の促進を図るため、ペーパーレス会議システムを導入しました。

財源内訳
国県支出金

16,101千円

行財政運営

住民のニーズに対応した行政サービスによる住民満足度の向上や中・長期的な展望に立った効率的な行財政運営を推進します。中・長期的に安定的な行財政運営のために、職員の資質向上や行財政改革を一層推進します。

◆庁舎・生涯学習センター等管理事業

47,906千円



【役場庁舎及び生涯学習センター・ギャラリーモール】

(担当：総務課)

役場庁舎、生涯学習センターおよび議会棟に関する機械設備の保守管理や施設全体の管理を行いました。

財源内訳
町の負担額 47,906千円

◆地方債元利償還金償還事業

1,121,346千円



【地方債を活用して整備した子育て支援住宅】

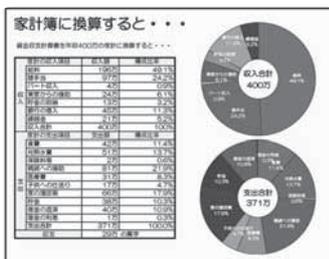
(担当：総務課)

子育て支援住宅の整備事業や町道等の災害復旧事業などの事業実施資金を確保するために借入した地方債の元金と利息の償還を行いました。

財源内訳
使用料 10,448千円
町の負担額 1,101,168千円
その他 9,730千円

◆財務諸表作成事業 (担当：総務課)

1,625千円



【財務諸表イメージ図】

財務諸表とは、「貸借対照表」「行政コスト計算書」「純資産変動計算書」「資金収支計算書」の4表から構成されるものです。予算書や決算書などの公会計資料とは別に、甲佐町の財務状況を表す資料として作成しました。

財源内訳
町の負担額 1,625千円

◆町有財産管理事業 (担当：総務課)

2,351千円



【公共施設等総合管理計画に掲載している甲佐町せっけん工場】

町が所有する土地・建物について維持管理を行いました。今後は、遊休資産を売却するなど財政負担の平準化を図ります。

財源内訳
町の負担額 2,351千円

◆議会会議録調製事業	(担当：議会事務局)	737千円
	<p>甲佐町議会の定例会および臨時会の会議録調製を行いました。会議録は、甲佐町公式ウェブサイトに掲載しています。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 737千円</p>
<p>【令和4年度に調整した会議録 (議場で撮影)】</p>		
◆議会だより『清流』の発行	(担当：議会事務局)	481千円
	<p>議会広報編集特別委員会を設置し、議会定例会の内容などを町民の皆様にお伝えする議会だより『清流』の編集、発行を行いました。年4回各戸配布し、甲佐町公式ウェブサイトに掲載しています。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 481千円</p>
<p>【令和4年度に発行した議会だより 「清流」(181号から184号)】</p>		
◆人事評価システム導入事業	(担当：総務課)	2,447千円
	<p>地方公務員法の一部改正により平成28年4月から「能力および実績に基づく人事管理」が求められています。</p>	<p>財源内訳 町の負担額 2,447千円</p>
<p>【人事評価面談風景】</p>	<p>本町においても法改正当初から取り組んでいましたが、職員への処遇反映（評価結果を勤勉手当へ反映など）を実施するにあたり、現在の評価制度の見直しを行い、また、評価結果の管理、運用を行うため、人事評価システムを導入しました。</p>	
◆議会運営システム構築業務	(担当：議会事務局)	29,700千円
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴者が議場に来場することなく一般質問の配信サービスを利用して本会議を傍聴できる環境を整備するため、議場における映像・音響設備機器のデジタル化を行い、円滑な議会運営システムを構築しました。</p>	<p>財源内訳 国県支出金 29,700千円</p>
<p>【完成した議会運営システム】</p>		

【資料】町の財政状況について

町の財政状況について、いくつかの指標を用いて分析することで
解りやすく解説します。



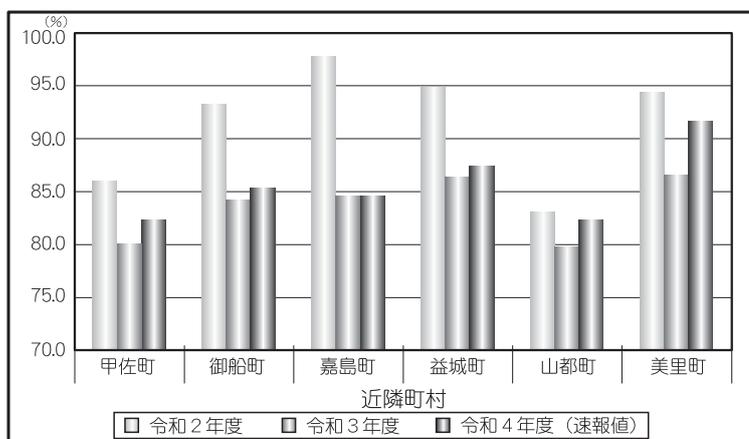
経常収支比率

経常収支比率とは、毎年必ず支払う経費（職員の給料や借金の返済額、扶助費など）が毎年必ず入ってくる収入（町の税金や普通交付税など）に占める割合のことです。この比率が低ければ低いほど財政運営の弾力性があるといえます。

令和4年度は、前年度よりも2.5ポイント増加しています。

(単位：%)

団体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)	
甲佐町	85.9	80.1	82.6	
近隣町村	御船町	93.0	84.0	85.8
	嘉島町	98.2	84.7	84.7
	益城町	94.9	86.6	87.7
	山都町	82.8	79.8	82.5
	美里町	94.5	86.8	91.6
県内町村平均	90.0	83.8	86.5	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

財政力指数

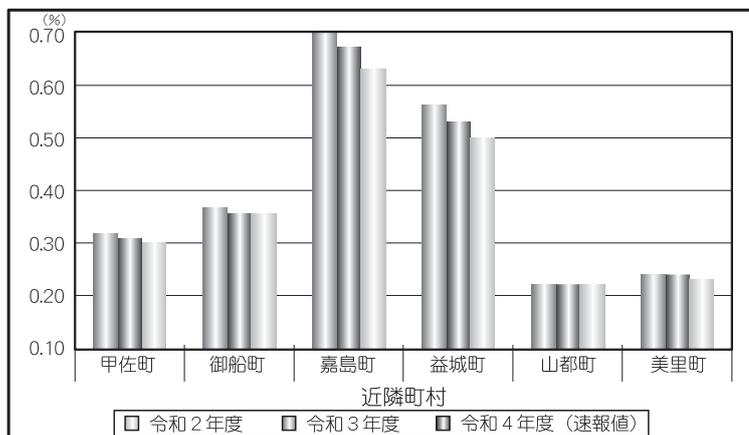
財政力指数とは、地方公共団体の財政力の強弱を示す指数で、この指数が1に近い（あるいは1を超える）ほど財政力に余裕があるとされています。

甲佐町は近年県内町村平均よりも下回る数値となっています。

財政力指数が1を超えるということは町税などの自主財源（町税や使用料など）で財源が賅える状態であるため、普通交付税が交付されない、いわゆる「不交付団体」となります。

(単位：%)

団体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)	
甲佐町	0.32	0.31	0.30	
近隣町村	御船町	0.37	0.35	0.35
	嘉島町	0.70	0.67	0.63
	益城町	0.56	0.53	0.50
	山都町	0.22	0.22	0.22
	美里町	0.24	0.24	0.23
県内町村平均	0.34	0.33	0.32	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

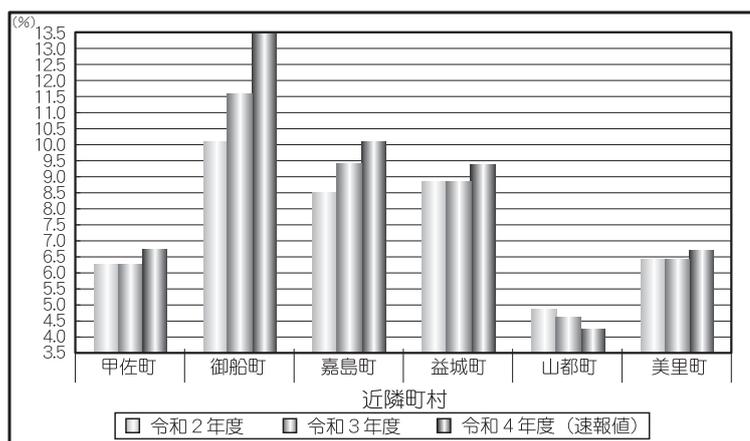
実質公債費比率

実質公債費比率とは、町税や普通交付税などの毎年入ってくる標準的な収入のうち、借金の返済額（町の返済額だけではなく一部事務組合や公営企業会計などに町が支出した負担金のうち、借金の返済に充てられたものも含む）が、どのくらいの割合であるかを見る指標です。

甲佐町の場合には、過疎債などに代表される後年度の借金返済時に国がその一部を補てんする有利な地方債を中心に借入れているため、これまで比率は年々減少していました。なお、平成28年度以降は震災関連の災害復旧及び町営住宅建替事業などに係る地方債の借入により増加しています。

(単位：%)

団体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)	
甲佐町	6.3	6.3	6.7	
近隣町村	御船町	10.1	11.6	13.5
	嘉島町	8.5	9.4	10.1
	益城町	8.8	8.8	9.4
	山都町	4.8	4.6	4.3
	美里町	6.4	6.4	6.7
県内町村平均	7.5	7.7	8.0	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

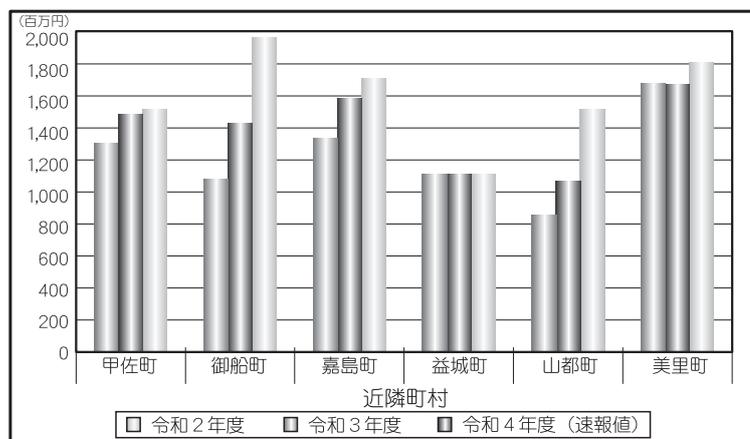
財政調整基金現在高

財政調整基金とは、一般家庭でいうところの「普通預金」になり、予期せぬ災害や大規模な建設事業などの実施時期に不足する財源を確保するという目的で積み立てているものです。

平成28年度以降、熊本地震及び豪雨災害に係る復旧事業に財源を要したことなどから、発災前と比べると基金残高は減少しましたが、健全財政に努めたことなどにより、令和4年度は約16億円まで増加しました。今後も、復旧・復興に係る地方債（町の借金）の返済が本格化することから、通常経費を見直すことなどにより財政調整基金を確保することが必要となっています。

(単位：百万円)

団体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)	
甲佐町	1,301	1,467	1,591	
近隣町村	御船町	1,087	1,418	1,963
	嘉島町	1,375	1,589	1,739
	益城町	1,120	1,121	1,121
	山都町	853	1,058	1,558
	美里町	1,679	1,672	1,805
県内町村平均	1,385	1,464	1,573	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。

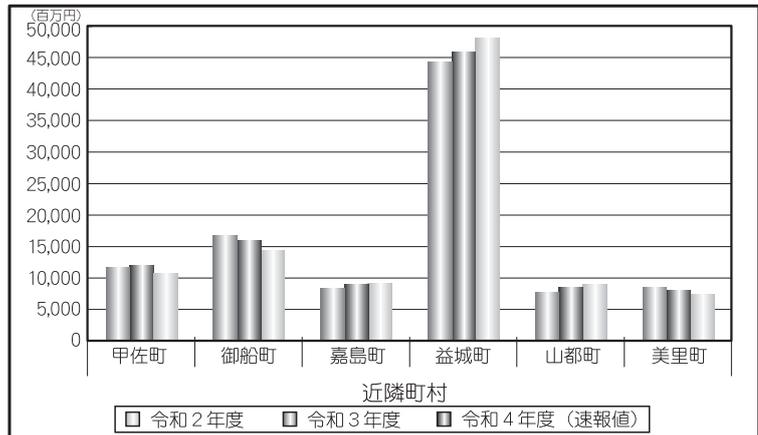
地方債現在高

地方債現在高とは、町が借入れた借金の現在高のことです。

平成29年度以降は、平成28年度に発生した熊本地震及び豪雨災に係る復旧・復興事業において多額の借入れを行ったため、地方債残高は毎年増加しています。令和4年度においても、復興事業として熊本甲佐総合運動公園の整備や町営住宅の建替などにより借入れを行いました。災害復旧事業に係る地方債の本格償還が開始していることから残高は微減しています。

(単位：百万円)

団体名	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)	
甲佐町	11,288	11,413	10,893	
近隣町村	御船町	16,444	15,707	14,510
	嘉島町	8,003	8,327	8,627
	益城町	44,075	45,938	48,842
	山都町	8,104	8,417	8,689
	美里町	8,169	8,064	7,786
県内町村平均	8,876	9,082	9,100	



※地方財政状況調査をもとに作成しています。



甲佐町 まちづくりプラン
令和4年度決算版

発行年月日 : 令和5年11月
発行・編集 : 熊本県 甲佐町
〒861-4696 熊本県上益城郡甲佐町大字豊内719番地4
☎(096) 234-1140(総務課)
甲佐町公式ウェブサイト : <https://www.town.kosa.lg.jp/>